

奈良 香 先生（秋田県立近代美術館 学芸主事）略歴

女子美術大学芸術学部芸術学科卒業後、県内高等学校で美術科教員として勤務。
平成 26 年より県立近代美術館で学芸主事として勤務。

* 今回講演『近美所蔵品に見る能代・山本の画家』について

近代美術館所蔵の作品を通して、能代・山本ゆかりの下記画家について、楽しく
分かりやすくお話しできればと思っています。画家名は、生年順にしました。



宮腰喜久治《亀ヶ岡》1992年
(秋田県立近代美術館蔵)

- ・岡田琴湖（1863—1945）能代市出身 日本画家
- ・秩父和平（1905—1982）能代市出身 洋画家
- ・桜庭藤二郎（1913—1994）山本町出身 日本画家
- ・信太金昌（1920—2015）山本町出身 日本画家
- ・大原省三（1920—1992）能代市出身 洋画家
- ・宮腰喜久治（1926—2004）能代市出身 洋画家
- ・金子義償（1940—）八竜町出身 洋画家



大原省三《画室にて》1959年
(秋田県立近代美術館蔵)

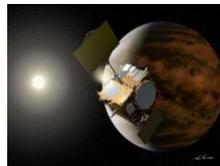
なお時間が許せば、全国的に注目の「秋田蘭画」についても触れたいと思います。

10月13日10時～16時30分、能代中央公民館2階の視聴覚室で、市民有志の提供による
宮腰喜久治作品の展示会（約50点）を共催します。

石井 信明 先生（JAXA、ISAS 飛翔工学研究系教授 能代ロケット実験場所長）略歴

昭和 34 年（1959 年）東京生まれ。

1989 年 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻博士課程修了 工学博士
現職 宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所（ISAS）飛翔工学研究系教
授、能代ロケット実験場所長



金星探査機「あかつき」(PLANET-C)



「はやぶさ2」小惑星リュウグウ到着

* 講師プロフィール

1985 年に打上げたハレーすい星探査機「さきがけ」、「すいせい」の軌道解析を
始めとして、火星探査機「のぞみ」(1998)、小惑星探査機「はやぶさ」(2003)、金星
探査機「あかつき」(2010)など、これまで日本が打上げた惑星探査機のミッション
検討、軌道解析、探査機システム設計などを行ってきた。

「はやぶさ」では、直径 40 cm のサンプル回収カプセルの設計を行い、無事に
打上げから 7 年後にオーストラリアの砂漠に着地させ、小惑星イトカワからのサン
プルを地上に持ち帰ることができた。

金星探査機「あかつき」のプロジェクトエンジニア（技術系のチーフ）として、
毎朝「あかつき」との通信を行っている。「あかつき」は、2015 年 12 月 7 日に 5
年間の苦労の後、ようやく金星を回る軌道に入ることができ、金星大気の謎を解明
するために、5 種類のカメラを使って、さまざまな雲の画像を撮影している。

能代ロケット実験場では、固体ロケットや液体エンジン、再使用型ロケットな
ど、将来の革新的な輸送システム研究のための地上試験を活発に行っており、その
組織の長として、実験設備の維持、管理など運営面での支援を行っている。

- （講演タイトル） 第 1 部 能代から宇宙を目指して
第 2 部 金星探査機「あかつき」の挑戦